

(4) 公共・レクリエーション施設

神崎川下流ブロックに位置する公共施設は、『官公庁』では、「西淀川区役所」、「西淀川消防署」、「西淀川警察署」、「都市環境局大野下水処理場」、『学習・福祉・集会施設』では、「西淀川区民ホール」、「西淀川区民会館（エルモ西淀川）」、「西淀川スポーツセンター」、「西淀川図書館」、「西淀川区老人福祉センター」、「校園・保育所』では、「高等学校」、「中学校」、「小学校」、「養護学校」、「専門学校」があります。

なお、2007年9月まで公共施設であった郵便局もここで示しています。

① 公共施設

表-2.2.3 西淀川区の公共施設

官公庁		校園・保育所	
名称		名称	
西淀川区役所		<高等学校>	
西淀川区保健福祉センター		大阪市立淀商業高等学校	
西淀川消防署		大阪府立西淀川高等学校	
出張所		大阪福島女子高等学校	
大和田出張所		<中学校>	
竹島出張所		淀中学校	
環境事業局西北環境事業センター		西淀中学校	
水道局歌島サービスステーション		歌島中学校	
都市環境局大野下水処理場		佃中学校	
西淀川税務署		<小学校>	
西淀川警察署		大阪市立柏里小学校	
佃交番		大阪市立野里小学校	
竹島交番		大阪市立姫里小学校	
歌島交番		大阪市立姫島小学校	
野里交番		大阪市立福小学校	
姫島駅前交番		大阪市立大和田小学校	
大和田交番		大阪市立川北小学校	
福大野交番		大阪市立佃小学校	
出来島交番		大阪市立香養小学校	
中島交番		大阪市立歌島小学校	
学習・福祉・集会施設		大阪市立出来島小学校	
名称		大阪市立佃西小学校	
西淀川区民ホール		大阪市立佃南小学校	
西淀川区民会館(エルモ西淀川)		<養護学校>	
エルモ西淀川屋内プール		大阪市立西淀川養護学校	
歌島プール(7、8月開設)		<専門学校>	
西淀川スポーツセンター		修成建設専門学校	
西淀川図書館		<幼稚園>	
西淀川区在宅サービスセンター(ふくふく)		大阪市立姫島幼稚園	
西淀川区老人福祉センター		大阪市立野里幼稚園	
郵便局		大阪市立大和田幼稚園	
名称		御幣島幼稚園	
西淀川郵便局		田養学園・佃幼稚園	
西淀川郵便局メラード大和田店出張所		光の園幼稚園	
<特定郵便局.>		<保育所>	
大阪姫島郵便局		大阪市立西淀川児童館保育所	
西淀川歌島郵便局		大阪市立福保育所	
西淀川歌島橋郵便局		大阪市立姫島保育所	
西淀川大和田郵便局		大阪市立出来島保育所	
西淀川柏里郵便局		大阪市立大和田保育所	
西淀川千船郵便局		大阪市立香養保育所	
西淀川佃郵便局		大阪市立佃保育所	
西淀川出来島郵便局		大阪市立姫里保育所	
西淀川中島郵便局		大阪市立野里保育所	
西淀川福郵便局		聖花保育園	
西淀川御幣島郵便局		青空保育園	
		よどっこ保育園	
		みどり保育園	

出典：西淀川区役所ホームページ

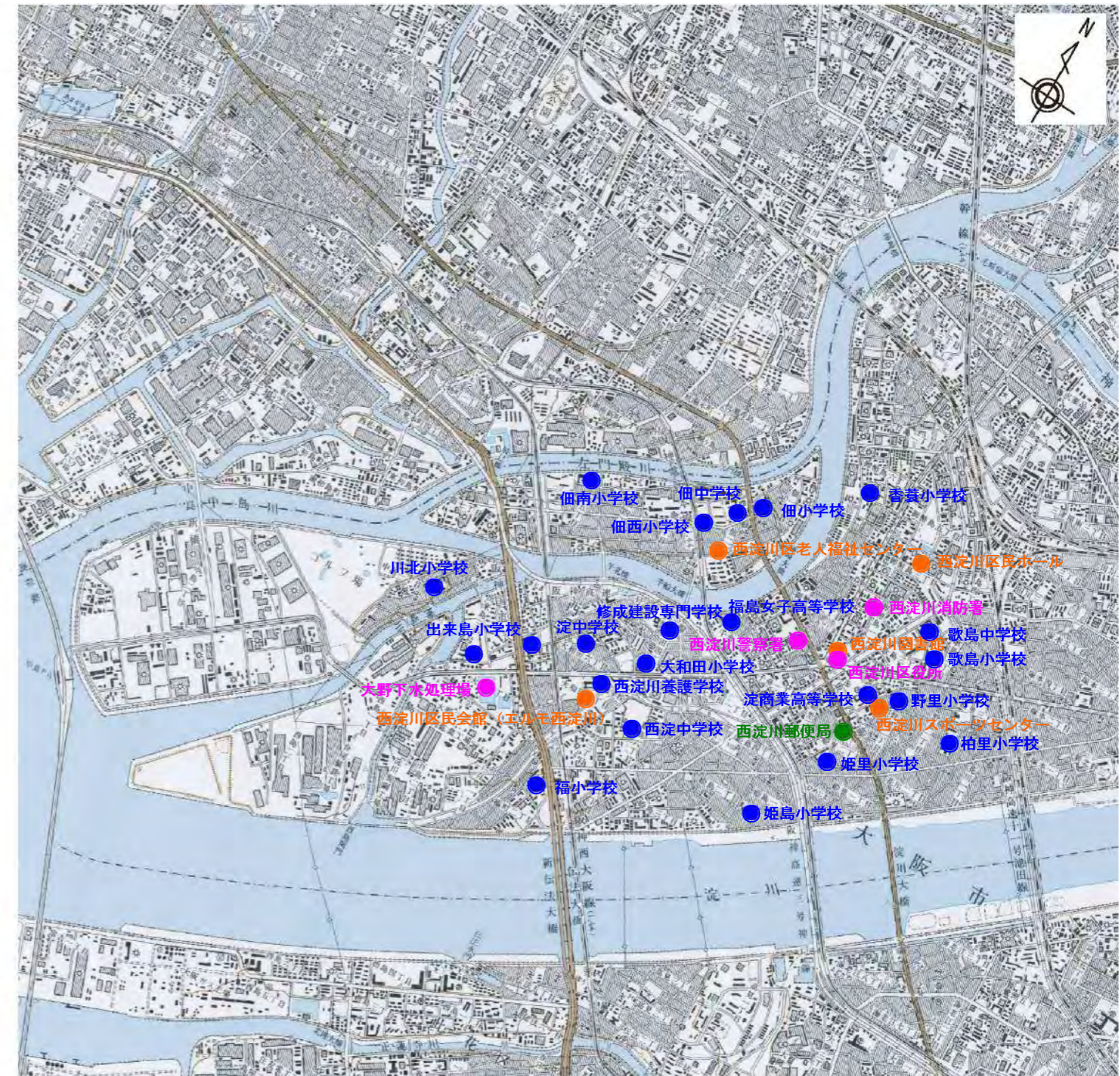


図-2.2.11 西淀川区 主な公共施設位置図

②レクリエーション施設

①なにわ自転車道、②大野川緑陰道路、③西島川自転車歩行者道路、④矢倉緑地、⑤佃ふれあい広場、⑥大野せせらぎの里

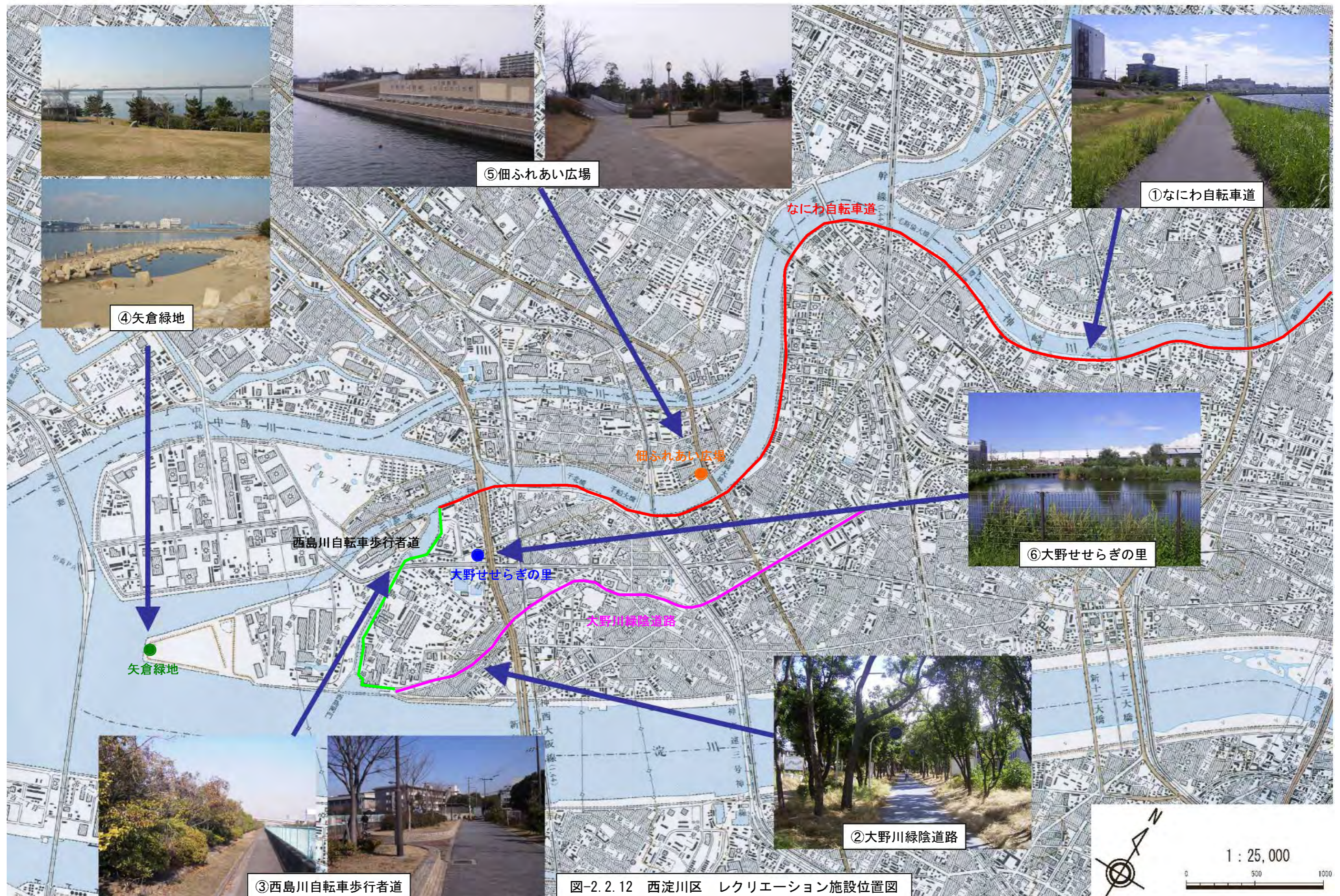


図-2.2.12 西淀川区 レクリエーション施設位置図

(5) 交通

① 道路

西淀川区は古くから、大阪と中国地方を結ぶ「中国街道」が通る交通の要所で、中津川を渡る「野里の渡し」や、伝法町から辰巳橋までの「大浦の渡し」などの水運も発達し、人の往来が盛んな地域でした。

現在、西淀川区の主要道路として、国道2号、国道43号、淀川通り、阪神高速道路があります。

昭和34年から平成17年までの西淀川区域における交通量を見ると、昭和36年～昭和50年代後半までは、「モータリゼーション」の発展と共に交通量が増えているものと考えられます。その後、平成初頭にかけて交通量が減少したものの、近年再び増加傾向にあります。

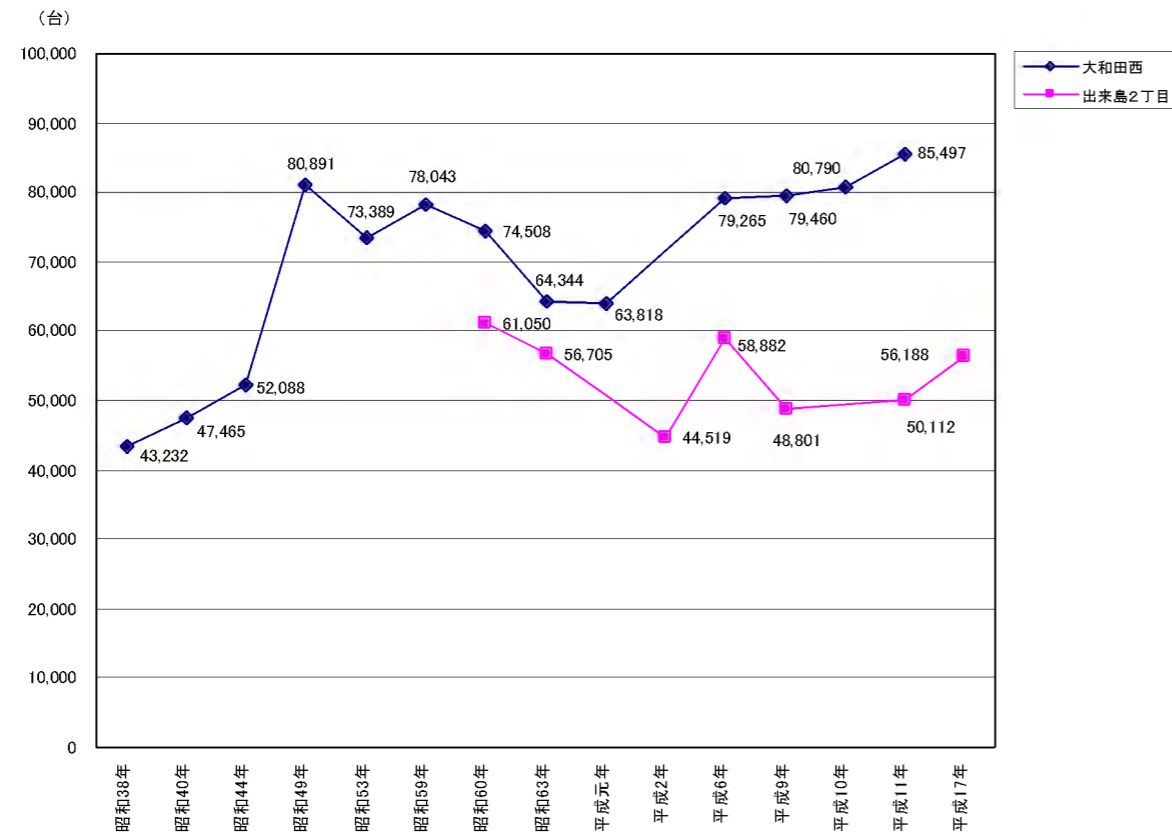


図-2.2.13 西淀川区の道路交通量の推移（昼間12時間交通量）

出典)

大和田西：大阪府警本部「交通量統計表」

出来島2丁目：国土交通省「道路交通センサス」

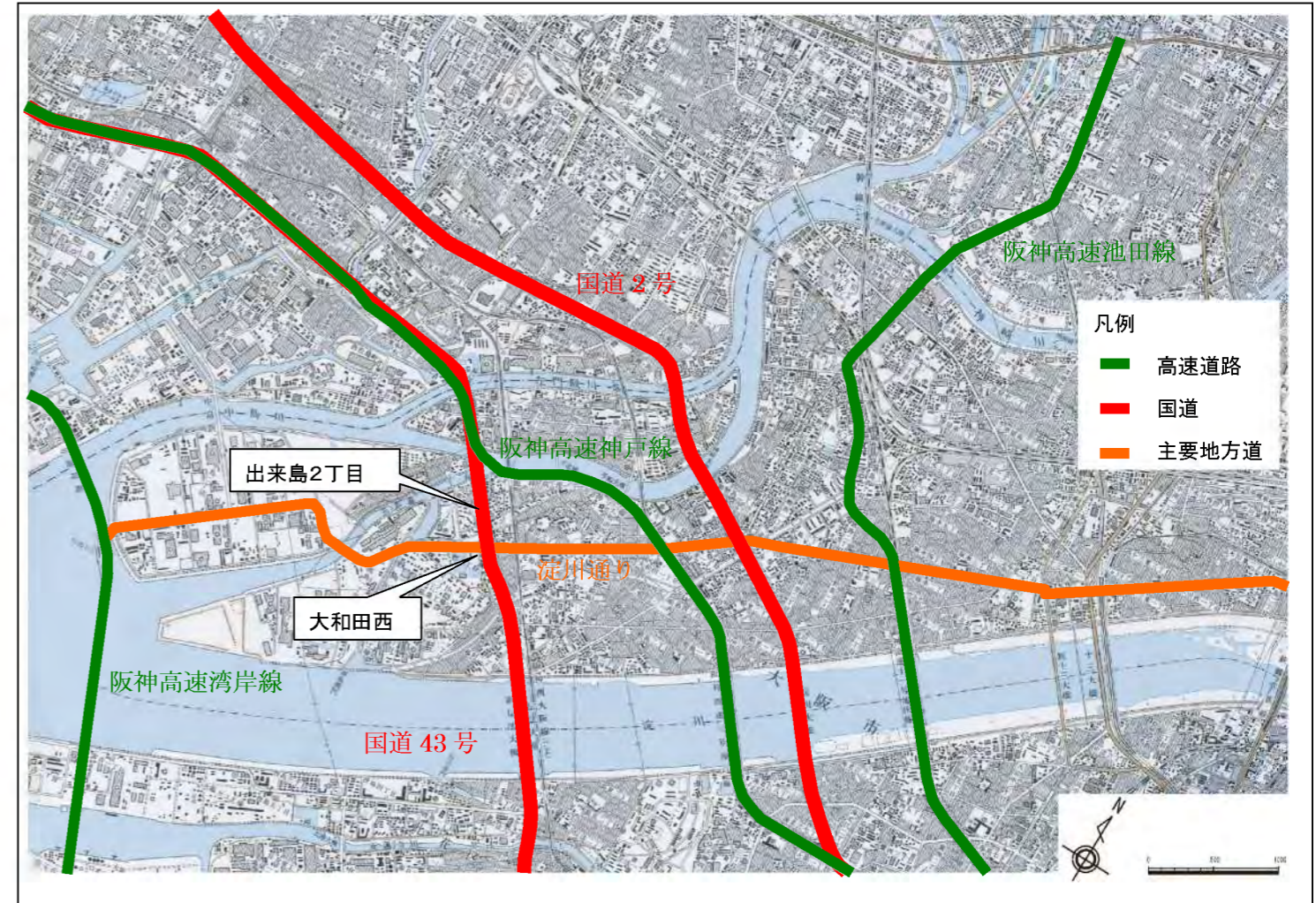


図-2.2.14 西淀川区 主要道路網図

② 鉄道

現在の西淀川区の鉄道駅は、JR 東海道本線「塚本駅」及び、JR 東西線「加島駅」、「御幣島駅」、阪神電車本線の「姫島駅」、「千船駅」、阪神電車西大阪線の「福駅」、「出来島駅」の7駅です。現在は廃線となっていますが、昭和50年までは、現在の国道2号に阪神電車国道線があり、「野里駅」、「歌島橋駅」、「御幣島駅」、「佃駅」がありました。

鉄道利用者数の変化を見ていくと、昭和44年には、阪神電車国道線を含めた各駅の乗車人数が69,400人でピークを迎えましたが、モータリゼーションの発達などにより、乗車人数が減少、昭和50年5月に阪神電車国道線が廃線し、昭和59年には51,865人にまで減少しました。その後、平成9年のJR東西線の開通など、乗車人数は徐々に増加し、平成元年以降は、55,000人～60,000人で推移しています。

なお、阪神西大阪線が延伸され、「阪神なんば線」(西九条～近鉄難波)が平成21年春に開通します。それにより、阪神西大阪線沿線の人口増、阪神西大阪線の利用者増が見込まれます。

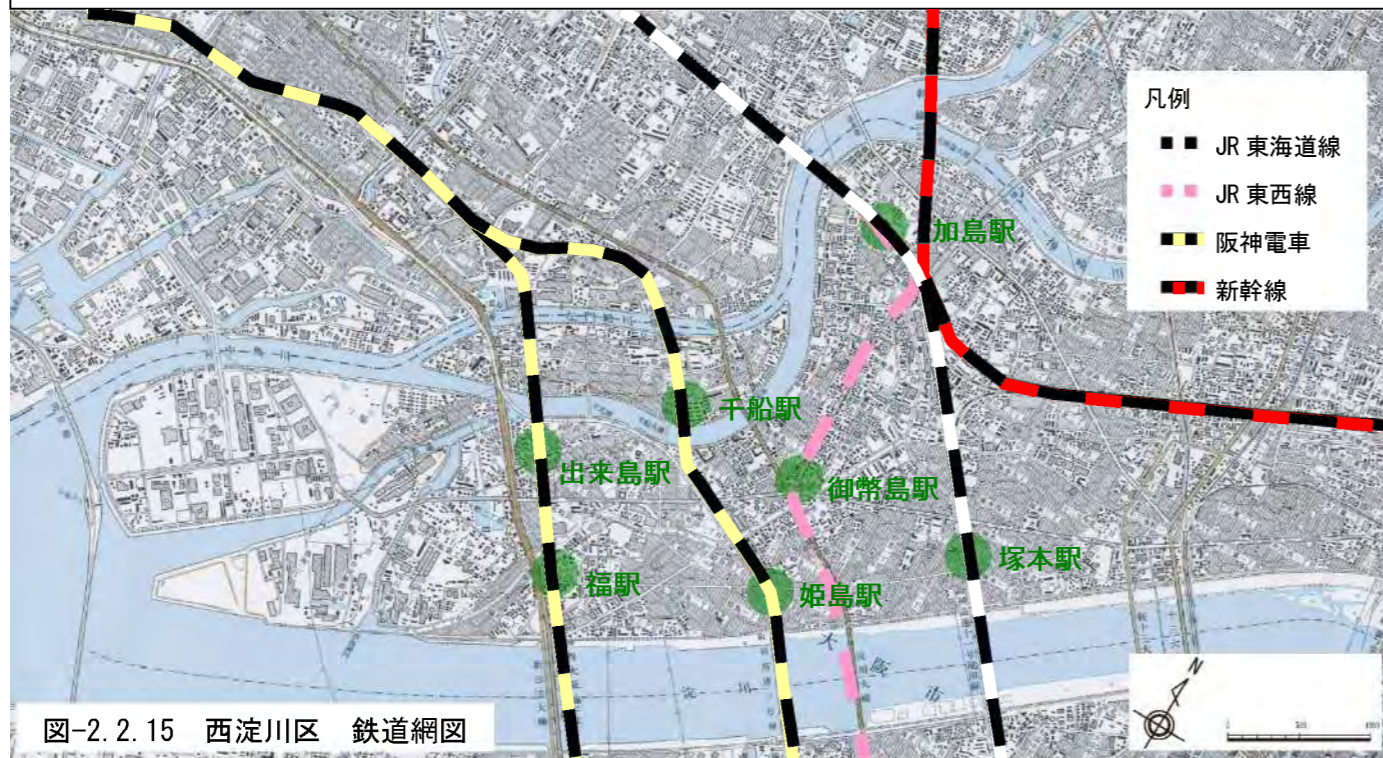


図-2.2.15 西淀川区 鉄道網図

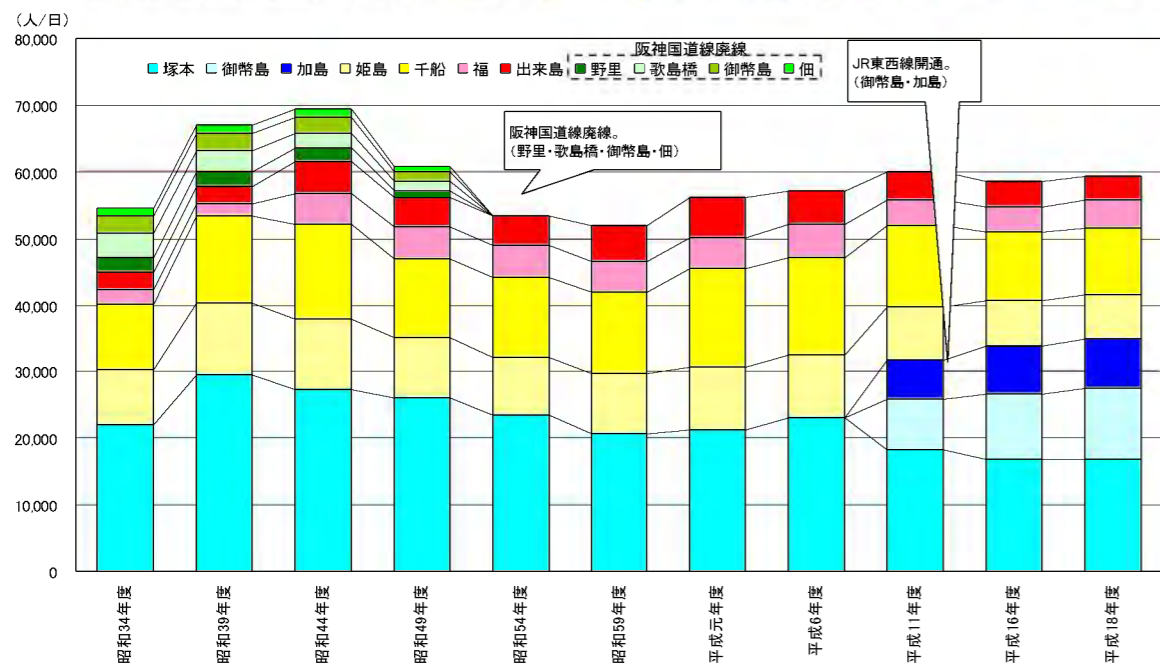


図-2.2.16 鉄道利用の変遷 (乗車人数)

データ：
昭和34年～平成16年度；
大阪市統計書、
平成18年度；
平成19年度大阪府統計年鑑

③ バス

大阪市営バスは、昭和2年2月に阿倍野橋～平野間(4.8 km)で営業を開始して以来、市内交通の重要な役割を果たしてきました。

昭和30年代後半には、大阪市全体で1日約120万人も利用していましたが、モータリゼーションの進展や地下鉄の整備が進んだことにより、乗車人員は減少しました。

平成18年度の1日平均乗車人員は、大阪市域全体で214,724人となっています。



図-2.2.17 バス路線図

出典：大阪市交通局ホームページ